



西尾いきものふれあいの里だより

3月号

2023.3.1 発行

さとやま

3月に見られるいきもの



今年の2月は、1月に引き続き強い寒気団が何度も南下し、気温の低い日が多かったですが、下旬になると暖かい日もあり、3月には春らしくなってくることでしょう。そんな3月の里で見られるいきものを紹介します。

田んぼエリアの湿った場所には、稲の種付けのころ咲くと言われる**タネツケバナ**の花が見られ、水路の岸には**ミツバツチグリ**の黄色い花が点々と咲き始めます。その近くの小屋付近や、ビオトープ上の池などの乾いた場所には、**キランソウ**を見つけることができます。ショウジョウバカマの小径や、トンボの里の小川の岸には、**ショウジョウバカマ**が開花します。

これから様々なスミレの花が咲きますが、よい香りがする**ニオイタチツボスミレ**は、中央広場の上の道から咲き始めます。里の様々な場所では、漬物のようなにおいを放つ**ヒサカキ**の花をたくさん目にします。長円寺では、**オガタマノキ**の花が見られます。

また、里のあちこちでは**アカタテハ**のように成虫で越冬していた蝶の姿も見つかります。

こんな初春の里を散策してみてください。



タネツケバナ



ミツバツチグリ



ショウジョウバカマ



キランソウ



ニオイタチツボスミレ



ヒサカキ



オガタマノキ



アカタテハ

里の生き物紹介

ホトケノザ

この時期、日当たりのよい草地には、様々な春の花が咲きます。下の写真は、菖蒲園と小草池の間の柿畑です。同じようなピンク色の花が咲いているように見えますが、よく見ると2種類の植物が入り混じっています。



ホトケノザは、シソ科に分類される越年草で、アジア・アフリカ・ヨーロッパに広く分布します。春の七草でのホトケノザは、図鑑の和名では**コオニタビラコ**と記載されています。コオニタビラコはキク科に分類される越年草で、ロゼット葉を放射状に広げている姿を、仏様の座っている円座に見立てて名がつけられたと言われていますが、花の形も円座のようですね。新芽や若葉を、天ぷらやおひたしなどにして食べることができ、七草粥にも入れられます。



シソ科のホトケノザの方は、茎を抱いた円形の葉の上に花が咲いている様子を、円座に座った仏様に見立てて名が付けました。毒はないですが、青臭くて食べられないそうです。

円形の葉が段々につくので、サンガイグサ「三階草」という別名もあります。



ところで、ホトケノザの花をよく見ると普通のつぼみより小さいものを見つけることがあります。これは咲かない花、閉鎖花です。花粉を運ぶ昆虫がいない寒い時期でも、自家受粉によって種子を作ることができます。種子には、脂肪酸・アミノ酸・糖を含んだ、エライオソームという部位がついていて、それを好むアリに運んでもらうことで種子を散布します。エライオソームは、スミレの仲間やムラサキケマンなど様々な種類の植物の種子にもあります。

ヒメオドリコソウは、同じくシソ科に分類される越年草です。ホトケノザの花が葉の上の方に伸びるのに対して、こちらは葉の陰につくことや、葉の形等で見分けることができます。

ヨーロッパ原産で明治時代中期に帰化した外来種で、在来種のシソ科の多年草、**オドリコソウ**に似ていて小さいため名が付けました。オドリコソウは、花がピンク色と白があり、笠を被った踊り子が踊っているように見えることから名が付けました。里では見かけたことはありませんが、花の段の間が広く、高さは30～50 cmくらいになり大型で、見間違えることはありません。



ヒメオドリコソウの花の色はピンク色が普通ですが、里の中央広場では珍しい白花のものが見られます。ピンクのものは上の方の葉が色付いていますが、白花は全体に赤い色素がないためか、緑色です。

ところで最近、ホトケノザやヒメオドリコソウによく似たもう1種類の植物があることに気が付けました。花が葉から長く外に出ていて、葉が大きく切れています。これは、**モミジバヒメオドリコソウ**というシソ科の越年草で、ホトケノザとヒメオドリコソウの交雑起源と言われ、ヨーロッパではふつうにみられる植物だそうです。1992年に初めて横浜市で確認され、分布を広げているようです。里でもいつの間にか見かけるようになりました。



こんなよく似たシソ科の植物を探してみてください。

2月の行事紹介



里山の竹林も繁殖が著しく、間引きを行いながら有効活用として3日間かけて竹炭焼きを行いました。

1日目は、里山の竹林で竹を切り炭焼小屋まで運び、窯に入る大きさに竹を切って、奥から隙間がないよう詰めます。

2日目は、窯に火を入れます。火を絶やさないよう窯の火を見張って、約7時間一定の温度で焼きあげました。

3日目は、1週間後の窯出しです。出来た竹炭は、そったり、ねじれたり、歪んだりして自然素材ならではの面白みがあり、また、防虫・防臭や飾りなどに活用するため、参加者で持ち帰りました。

4月の行事予定

2日(日)	親子でタケノコ掘りを体験しようⅠ ※注1	30名	AM9:30~11:30	 当園職員
9日(日)	親子でタケノコ掘りを体験しようⅡ ※注1	30名		

内容 ~ 里の竹林整備などの一環として、実際にバチ鍬(くわ)を使ってタケノコ掘りを体験します。

「※注1」の講座は3月12日から受付しますが、両日への申込みはできません。

16日(日)	万灯山へ春の花を探しに行こう	20名	AM9:30~15:00	高須桂子
--------	----------------	-----	--------------	------

内容 ~ 万灯山へ、春の生き物を観察しながらウォーキングします。山頂では、別名「妖精の足跡」とも呼ばれるフデリンドウの花を楽しみながらお弁当を食べます。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその家族までとします。なお、申込者が**4名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止**のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始「12/28~1/4」 ◆発 行 西尾市環境部 環境保全課